

きたそらち

2022
8月号
No.257

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



子どもたちは大きな牛に驚きながらも、牛と触れ合い搾乳体験にも挑戦しました！

→記事の詳細は9ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

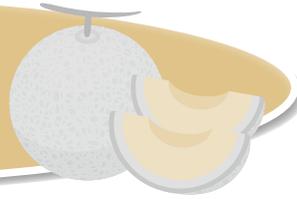


JA_HITASORACHI

目次

- 各地区で特産メロン出荷開始 …… 2
- 北育ち元気村花き生産組合
 フラワーアレンジメント贈呈 …… 4
- カレッジあみていえ2期生
 スキンケア&カメラ講習会 …… 6
- 「JAきたそらち地域農業応援団」
 今年も開催！ …… 8

各地区で 特産メロン出荷開始



青果部

北斗メロン

6月23日、豊潤な甘みが特徴の赤肉メロン「北斗メロン」の出荷が始まった。この日は、北斗メロン生産協議会（菱口清志会長、会員19戸）の橋本健さんと荒井和也さん（ともに一巳地区）が、青果部野菜集出荷施設に計22ケース（1ケース4玉入り・5玉入り）を出荷した。今年は4月、5月と気温および日照時間が平年に比べ高く経過したことで、順調に生育し、また昼夜の寒暖差が大きかったため糖度の上がりも良く、この日の検査では糖度18度と甘さ十分のメロンが出荷された。

橋本さんと荒井さんは「風の強い日が続く湿度管理には苦労したが、ハウス管理に気を付け今年も糖度の高いメロンを作ることが出来た。ぜひ多くの人に美味しく食べて欲しい」と笑顔で話す。

「北斗メロン」は、同協議会が約4haに作付けしており、7月中旬から下旬をピークに秋まで出荷が続く。今年は1万2千ケースの出荷、4千2百万円の売り上げを見込む。



初出荷した橋本さん(中央)と荒井さん(中央左)

暑寒メロン

6月29日、雨竜町の特産、青肉メロン「暑寒メロン」が初出荷された。この日は雨竜町メロン部会の谷本貴志部会長が、計10ケース（1ケース4玉入り・5玉入り）を運び入れた。

この日、同部会員により行われた糖度検査では、糖度16.6度と甘み十分で出荷基準の14度より高い数値を出した。

また検査後は、同部会員がメロンを一つずつ手に取り格付けし、出荷された全てのケースに最も高い等級の「秀」を付けた。

谷本部会長は、「今年は風の強い日が多くハウス管理には苦労したが、夜温が低く寒暖の差が大きかったため、甘いメロンを作ることができた。1人でも多くの方に暑寒メロンを知ってもらい、町内外の皆様に食べてもらえたら」と笑顔で話す。

香りが良く糖度の高さが特徴の「暑寒メロン」は、同部会の18戸が約2.9haで栽培しており、今年は1万2千ケースの出荷、5千6百万円の売り上げを見込む。出荷は7月中旬から下旬にピークを迎え、8月中旬まで続く。



初出荷した谷本さん(中央)

北竜ひまわりメロン

6月17日、北竜町の特産、青肉メロン「北竜ひまわりメロン」が初出荷された。この日は、北竜メロン生産組合（高畑克洋組合長、24戸）の渡邊靖範さんが、10ケース（1ケース4玉入り・5玉入り）を出荷した。

今年は春先の天候不良が影響し、昨年より1日遅い初出荷となったが、昼夜の寒暖差が大きくなり糖度は16.2度と甘み十分のメロンが出荷された。

渡邊さんは、「3月中旬の定植後は-10℃以下の気温が続き、生育の遅れはあったが、無事に初出荷を迎えることができてよかった。今後も急激な天候の変化さえなければ順調に生育が推移するため、甘いメロンをどんどん出荷していきたい」と笑顔で話す。

「北竜ひまわりメロン」は同生産組合が約5.4haで栽培し、今年は2万ケースの出荷、1億円の売り上げを目指す。出荷は7月中旬・下旬にピークを迎える。



初出荷した渡邊さん(前列中央)

種子馬鈴薯圃場の検査



6月20日と7月1日、15日の3期にわたり、きたそらち種子馬鈴薯生産組合（羽根清組合長、4戸）の組合員圃場における病害虫の検査が実施され、第1期から第3期で抽出された計39筆全てが検査に合格した。

同検査は、健全な種苗を国内の栽培農家へ供給するため、国が定める植物防疫法に基づき農林水産省植物防疫官や関係団体等が種子馬鈴薯のウイルス病等、10種類の病害虫の発生有無を確認する。

7月1日と7月15日の第2期・第3期防疫検査では、多度志地区の同生産組合員圃場4戸を巡回し、農林水産省横浜植物防疫所札幌支所の防疫官1名による抽出検査が行われ、無作為に抽出された圃場計31筆全てが合格した。

【農産課 辻】



販売部

きたそらち産のお米をPR!
「JAきたそらちin十勝フェア」

（株）ハピオ（音更町）、Aコープ土幌店アスポ（土幌町）、十勝ヒルズ（幕別町）の3ヶ所において、令和4年5月から8月までの4ヶ月間連続で「JAきたそらちin十勝フェア」と銘打ち、毎月1回、購入者へ「お米300g」と「ひまわりの種」をプレゼントするPRイベントを開催している。

昨年はコロナ禍により、1度きりの開催となったが、今年は感染症対策を万全に行いながらの開催となった。

試食等の際には、お客様と直接お話をすることができ、今まで「きたそらち産のお米」を知らなかった方々に興味を持って頂ける良い機会となった。また、「いつも食べているよー」などと嬉しいお言葉をいただくこともあり、さらに同イベントは道外から来場する観光客も多く、北海道米認知度向上にも一役買っている。

今回の開催予定は8月27日（土）、28日（日）となっておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【米穀課 菅井】



北空知 広域連

「北空知の花き、もっと地元の方々に」

北育ち元気村花き生産組合が 各行政へフラワーアレンジメントを寄贈

7月11日、北育ち元気村花き生産組合（田村昌之組合長・妹背牛町）では、地元市民・町民の皆さんに北空知の花をもっと知ってもらい、親しんでもらおうと、各市町村役場へフラワーアレンジメントの寄贈を行った。

同組合は、JAきたそらち・JA北いぶきの生産者235戸で構成され、スターチスヌアータを中心に、北空知管内で67・2haを作付け（R3年）、約10億4千3百万円（R3年産）の販売を誇る全道でもトップクラスの花き生産地である。一方でその約95%が道外市場へ出荷されるなど、全道有数の花き生産地であることが地元にもあまり知られていないことから、令和2年度より、管内の深川市・雨竜町・北竜町・妹背牛町・秩父別町・沼田町の各役場窓口へフラワーアレンジメントを寄贈しており、市民・町民の目を癒し、北空知の花のPRにも繋がっている。

この日、同組合は田村組合長をはじめ、廣田和也副組合長（一戸地区）、内藤敬人副組合長（音江地区）、近藤洋介会計（ムム地区）が深川市役所を訪れ、1階ロビーにフラワーアレンジメントを設置した。

各地域でメインとなる品種を中心にアレンジ

メントを行い、深川市ではスターチスヌアータ、ダリアなど約10種類の花が使用された。

田村組合長は「市民の皆さまには今年もフラワーアレンジメントを愛でて頂きたい。また、高齢化・少子化が進み農家戸数が減少する中、当組合は25周年を迎え今年度は10戸の新規就農者がある。花は少面積でも出来るのでぜひ挑戦して頂きたい」と話した。

また同日、当JAに対しても寄贈を行い、受け取った岩田清正専務は「北空知は全道一の花き産地であることを多くの方に知って頂きたい。しかし、花き農家も減少傾向にあるため、このフラワーアレンジメントを見て花きに挑戦したいと思っていたらいい」と話した。フラワーアレンジメントは当JA本所の正面入り口に飾られた。



女性部 だより

JAきたそらち女性部

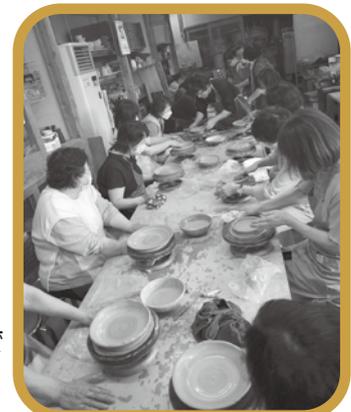
さくらカレッジ「女性だけの農業機械操作研修&陶芸体験」

JAきたそらち女性部は第29回さくらカレッジ「女性だけの農業機械操作研修&陶芸体験」を6月27日に江別市で開催し、21名が参加した。

今回の研修先のひとつ、ヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社の講習会では、女性職員の方が講師として丁寧・親切にトラクターなど農業機械による年間事故発生状況や安全な農作業の仕方を説明し、実技では自動操舵トラクターの試乗やドローン操作など2班に分かれて行った。

参加者はそれぞれ交代で操作し、「大きいトラクターでも自動操舵なら女性にも運転が出来る」「ドローン操作は難しいけど面白い」など普段触れることの無い農業機械操作を楽しんでいた。

その後、陶芸工房アトリエ陶で陶芸体験を行い、「ろくろがうまく回らないなら手伝うよ」「色はお揃いにする？」など他支部の部員と協力しながら世界で1つだけのお皿の出来上がりを楽しみにしていた。



女性部各支部 視察研修を実施

女性部各支部では、毎年この時期に視察研修を行っており、個人では中々行くことの出来ない場所での体験を、女性部活動や農作業に活用している。

<深川支部> 7月11日



道の駅花ロードえにわ、えこりん村、北広島三井アウトレットパーク、砂川ハイウェイオアシス

<深川支部フレッシュミズ会> 7月12日



富良野風のガーデン、ニングルテラス、ぶらっすりー海風堂、フラノマルシェ

<雨竜支部> 7月5日



道の駅とうべつ、にしん御殿小樽貴賓館、小樽運河プラザ、鶴雅ビュッフェダイニング札幌

<幌加内支部> 7月11日



北空知広域連花き施設、JAきたそらち青果部選果場、(株)せがわ農園(音江地区)



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和4年6月実績

○累計 (R3.12~R4.6)

発電電力 **61,882kWh**

発電電力 **313,264kWh**

計画対比 + 11,205kWh

計画対比 + 78,600kWh

前年対比 △ 10,644kWh

前年対比 + 17,468kWh

JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」2期生 スキンケア講習会&カメラ教室



JAきたそらち女性大学 カレッジあみていえ2期生（12名）による第5講座、第6講座が7月12日、JAきたそらち本所で開催された。同講座は昨年、開催予定だったが、コロナ禍により延期としていた。

第5講座は、「しあわせ設計舎」代表の菊島聡美氏を講師に迎え、「スキンケア～紫外線と保湿～」をテーマに開催し、7名が参加した。

肌に良いとされるビタミンCは外からではなく内側から接種した方がよいことや、日焼け止めクリームの成分表示の見方など、スキンケアに対して、参加者がそれぞれ大変興味深くメモを取っていた。

続けて、第6講座では、「Taku Hatakeyama Videograph」代表の畠山拓氏を講師に迎え、「カメラ教室」を開催し、5名が参加した。畠山氏は、JAきたそらちのYouTubeチャンネル「きたそらちゃんねる」における「JAきたそらちPR動画」などの動画を撮影したカメラマンで、講義では「きたそらちゃんねる」を実際に視聴した。また参加者からは、畠山氏が手掛けた動画作品を視聴したいという要望があり、旭山動物園の裏側を撮影したPR動画などを視聴し盛り上がった。

実技では、スマホを片手に「①ピント」「②水平」「③逆光」など撮影するポイントやコツなどを教わり、実際にそれぞれ被写体を撮影し品評会を行った。

今回は、2講座を連続で開催したが、参加者からは「実技もあり面白かった。家に帰ってから早速やってみたい」「ためになる話ばかりで、時間が経つのが早かった」などの感想が寄せられた。



農業
振興部

深川市新規就農等受入協議会 第1回 通常総会を開催

農業の担い手不足や後継者不足の解決に向けて昨年5月に設立された「深川市新規就農等受入協議会」の第1回通常総会が6月15日に開催された。

議事では、令和3年度の事業報告として新規就農相談の受付・対応等の経過報告や、昨年開催されたJAきたそらち雇用就農フェア・短期農業体験研修などの活動報告が行われた。

続けて令和4年度の事業計画（案）などの議案が承認された。

また、同協議会長の佐々木伸介氏（音江地区）は「情熱とやる気をもった方々を当地域へ着実に定着させることが一番の目標。会員による効果的な研修の受け入れや、営農技術指導、就農へのサポート体制の拡充が喫緊の課題であり、会員の皆様には、ご理解とご協力をお願いしたい」と話す。



深川支所

大阪いずみ市民生協による産地視察研修

大阪いずみ市民生活協同組合および関連会社の職員53名が、7月1日、2日の1泊2日の日程で、深川市へ産地視察研修に訪れた。

同市多度志地区は、同組合から「ななつぼし」「ゆめぴりか」の産地指定を受けている。今回訪問した同組合の職員は、顧客の声を直接聞くことが多い宅配担当ドライバーで、このような視察研修の開催は初の試み。

視察研修では、ホクレン主食課の遊佐友広課長が北海道米の歴史や北海道が全国に先駆けて行ったタンパク仕分けについて、当JAの高木真樹米穀課長が北海道弁を使ってJAきたそらちの概要について説明した。

また、同地区生産者とのディスカッションも行われ、多度志水稻生産協議会の板垣政友会長や当JAの遠藤良明 多度志地区代表理事、辻本吉和 多度志地区理事が参加し、米生産者として困っていることやうれしいこと等について活発な意見交換が行われた。

その後は、水田視察や深川マイナリーの現地視察が行われ、参加者は、顧客への宅配時におすすめ商品の提案や、商品説明を求められる立場であることから、「ゆめぴりかはなぜおいしいの?」「県によって好まれる品種はありますか?」等具体的な質問を多く出していた。

同研修の最後には、「産地視察は初めて。沢山の産地情報や今まで知らなかったお米作りのお話が聞けた。自信をもって顧客にお勧めすることができます」などの感想が参加者から述べられた。

【深川支所 斉藤】



雨竜支所

稚内市で「うりゅう米」のPR販売

7月2日に、稚内市にある相澤食料百貨店にて開催された「あいざわ大創業祭」において、うりゅう米のPRイベントを行った。

今年は、同店が創業100周年となる記念すべき年であり、うりゅう米購入者にハズレ無しのカチャガチャ抽選会を実施し、特賞の景品には雨竜町の暑寒ジンギスカンと雨竜町産酒米で作られた日本酒(各1本ずつ)、パックご飯やカップご飯、うりゅう米煎餅などあわせて100本用意した。

当日は、開店前から行列ができるほど大盛況で、抽選会は8時半から15時までを予定していたが、お昼過ぎには景品が全てなくなる程だった。

うりゅう米の認知度も年々高まっており、リピーターとして購入する方も増えてきているため、今後も継続して販売推進を実施していく。

【雨竜支所 木村】





JAボランティア花菜 役場前花壇の花植え

JAボランティア花菜(井上信子会長、会員11名)は6月25日、幌加内町役場の花壇に花植えを行った。この花植え活動は、令和元年から行っており、今年も暑い中、参加した会員6名が幌加内高校から提供された花の苗を丁寧に植えた。

井上会長は「多くの町民の皆さんに見ていただくと嬉しいです」と笑顔で話す。

【幌加内支所 岩本】



令和4年度「JAきたそらち地域農業応援団」 今年も開催



当JAでは今年も、JAと准組合員との交流の場「JAきたそらち地域農業応援団」を開催し、本年度はJA管内に住む准組合員17名が入団した。

6月24日に、当JA本所で第1回応援団会議が開催され、応援団員やJA役職員などが出席した。開会にあたり柏木孝文組合長は、「地域農業応援団では普段なかなか目につくことのないものも見る事ができる。地域農業の発展のため応援団のみなさまにも協力者になっていただき自分の地域のものを知って内外にPR等をして頂ければ」と挨拶した。



応援団では、「食育ソムリエ」の資格を持つ青果部の河原秀昌課長から、家庭菜園や食育活動についての講習会が行われた。団員からは、「家庭菜園をする際の追肥の仕方」など多くの質問が出され、河原課長は土づくりやプランター栽培のコツ、肥料の種類や特徴などについて説明を行った。



さらに、精米施設の見学を行い、普段はなかなか見ることのできない施設内部を見学し、集荷から調製・出荷までのそれぞれの工程で最新鋭の設備と徹底した品質管理が行われていること等に関心が寄せられた。

今年度も時季に合わせた活動を5回に分けて行う。

JAきたそらちで 高校生のインターンシップを実施

「就職して社会人になったらどのように働くのか」をイメージしながら職業体験を行う「インターンシップ」を深川東高校の2名、旭川高等支援学校の1名が当JAで実施した。

深川東高校は、6月9日から10日の2日間において青果部選果場やeciR、精米施設、資材店舗において様々な業務を体験、旭川高等支援学校は6月15日から毎週水曜日のべ5日間青果部選果場において選果作業や梱包用の箱作りなどを体験した。

インターンシップでは単なる企業の業務を体験するだけではなく、社会人としてのビジネスマナーを学ぶ機会でもあるため、参加した学生は緊張した面持ちで各所の職員に業務を教わりながら丁寧に作業を行っていた。

参加した学生は「大変だったけど色々できて楽しかった」と笑顔で答える。今後もインターンシップやフィールドスタディなど、JAや農業を知っていただくために積極的に受け入れていく予定。



【人事課 墓田】

総務部

～JAきたそらち 食農教育 農の学び舎2022～ イペ・トイ・レシカ

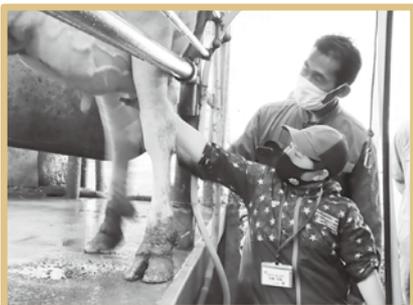
～牛との触れ合い編～

6月18日、今年2回目となる当JAの食農教育事業イペ・トイ・レシカが行われ、「牛乳ってどうやってつくるの？～子牛から搾乳まで～」と題し、搾乳したミルクが様々な加工品となってお店に並ぶことを職員が説明し、子どもたちは実際に牛に触れながら牛乳を頂くことへの感謝の気持ちを学んだ。

職員からの説明後、深川支所一已地区の(株)藤川農場(藤川豊代表取締役)で牛との触れ合いと搾乳体験を行った。初めは大きな牛に驚き怖がっていた子どもたちも牛と触れ合い、搾乳体験では藤川さんからアドバイスや手助けを頂きながら、徐々にコツをつかみミルクが上手く出たときには歓声が上がった。

また子どもたちは間近で見ることの無い大型機械の運転席に乗り、笑顔で写真撮影も行った。

(株)藤川農場で体験を終えた後は、本所に戻り、牛乳を使ったアイスづくりも行い、参加した子どもたちは「少し怖かったけどミルクを搾れたのが面白かった」「家でも牛乳アイスを作りたい！」など笑顔で話した。



JAきたそらち役職員向け研修会を開催
～交通安全講習会・コンプライアンス研修会～

当JAでは、コンプライアンス意識や交通安全への意識を高めるため、全役職員を対象とした各研修会、講習会を開催している。

6月24日には、コンプライアンス意識を高めるための「コンプライアンス研修会」を開催した。同研修会は、毎年この時期に実施しており、今年も新型コロナウイルス感染症対策として、各支所や金融共済店舗、給油所などの20拠点を結んでリモート形式で実施。同研修会では、総務経理課の佐藤義幸課長が、個人情報保護、コンプライアンス遵守、ハラスメント防止、不祥事ゼロ運動、独占禁止法などについて説明した。

7月4日には、「交通安全講習会」が、コンプライアンス研修会同様にリモート形式で行われた。同講習会は、深川警察署交通課長の上村大地氏を講師に迎え、北空知管内の死亡事故発生の実態や、実際に交通事故に遭った車のドライブレコーダーの映像を視聴し、交通事故の悲惨さ事故の原因などを学んだ。

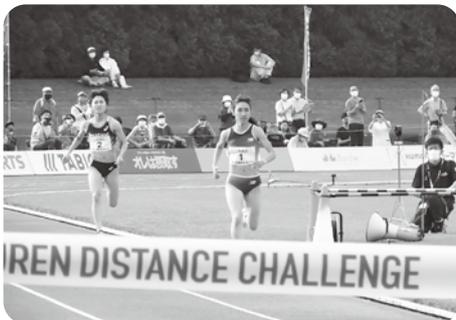
研修会と講習会を通し、役職員にとって不祥事・交通事故の未然防止につなげていきたい。



コンプライアンス研修会



交通安全講習会



6月22日、ホクレン・ディスタンスチャレンジの20周年記念大会が深川市陸上競技場で開催され、女子1000mにて田中希実選手（豊田自動織機）が2分37秒33というタイムを出し日本記録を樹立した。記録樹立を記念し、当JAが提供した深川産「ふっくりんこ」1年分が田中選手に贈呈された。田中選手は2020年にも同競技場で日本記録を樹立している。

また、当JAの岩田清正専務が男子5000mと女子10000mのプレゼンターを務め、優勝選手にふかがわ米や花束を手渡した。

同大会は、2022年世界陸上競技選手権大会への出場権獲得に繋がる大会であり、男女5000mや男女10000mなど全10レースに、国内外の中・長距離のトップランナーが出場した。また今年は、新型コロナウイルス感染症対策が行われたなか、3年ぶりに有観客で開催され、インターネットでも競技の様子が配信された。

「ホクレン・ディスタンスチャレンジ 20周年記念大会」
日本記録樹立で当JA提供の
深川産「ふっくりんこ」1年分贈呈

耳が詰まった感じがしたら

医療法人社団本間クリニック 院長 本間

裕



「耳が詰まった」「耳がふさがった」と感じたことはありませんか。そのような訴えで耳鼻咽喉科を受診される患者さんは少なくありません。この感覚を「耳閉感」と呼びますが、外耳疾患、中耳疾患だけでなく、内耳疾患や中枢（脳）の異常でも発生する可能性があります。痛みや難聴の自覚はある場合もない場合もあり、またふらつきや吐き気を訴える方もおられます。

実際の診療では、問診の後に外耳（耳たぶから耳の穴の奥）の診察を行います。当科は原始的な診療科ですので、視診と触診が中心かつ重要なのですが、肉眼や顕微鏡で観察するだけで、耳垢が詰まった状態（耳垢栓塞）、外耳道に外部の異物が入っている状態（外耳道異物）、炎症で外耳道が腫れている状態（急性外耳炎）などが診断可能です。診断がいたら各々適切な治療をすれば症状は治まり、治療の状態となります。

外耳の診察で異常が見当たらない場合は、顕微鏡や内視鏡を用いて耳の穴の一番奥にある鼓膜の観察を行います。中耳炎では殆どの例で鼓膜に異常が見られます。自覚のあるなしにかかわらず難聴を伴うことが多いので、聴力検査の対象になります。中耳炎の中でも、耳閉感のみの訴えの方に多いのは滲出性中耳炎で、鼓膜の奥に黄色調の液体が貯まっているのが観察できます。何らかの外力によって鼓膜に穴が開いた状態（外傷性鼓膜穿孔）の場合も耳閉感の訴えがあります。問診で外傷の既往を聴取しきれない時もありますが、鼓膜の観察で穿孔を確認できます。これら中耳疾患の場合も適切に治療すると多くは治癒します。

鼓膜に異常を認めない場合は、さらに奥側に病変がある可能性があります。このような中耳疾患は、鼓膜や耳小骨が徐々に固くなる状態（耳硬化症、鼓室硬化症）、中耳腔と鼻の奥をつなぐ耳管という器官が詰まった状態（耳管狭窄症）、あるいは開きっぱなしになった状態（耳管開放症）などです。また内耳疾患としては、低音障害型の感音難聴やメニエール病、突発性難聴などが鑑別の対象になります。耳疾患以外でも聴神経の神経鞘腫や顎関節症、不安神経症でも耳閉感は起こります。中耳や内耳は観察できない場所なので、聴力検査などの機能的検査の対象となり、場合によってはCTやMRIといった画像検査の適応となります。内耳の異常が確認された場合、発症して早期であれば治療での改善が期待できます。突発性難聴では発症後10日以上経つと治療効果が乏しいと言われておりますので、早期の診断治療が重要です。

通常の診察と検査を行っても異常を発見できない場合もあります。この時は定期的に経過観察を行い、異常が出るタイミングで検査ができるかどうかが重要です。一度の診察で答えが出なくとも、時間の経過とともにだんだんと明らかになってくる病気もあるのです。

耳鼻咽喉科ではどこでも以上のような診察、検査、治療が可能です。耳閉感を感じられたら早めの受診をお勧めいたします。



農業振興部からのお知らせ

情報配信サービス 『JAコネクト』の運用を開始！

令和4年6月より新しい情報配信サービスとして『JAコネクト』を導入致しました。今までFAXで受け取っていた情報が、スマホでいつでもどこでも情報を受け取ることができます。組合員の皆様の利便性向上のため、ぜひご利用ください。

JAコネクトとは

- FAXで送られているJAからの情報（技術情報や会議案内など）をスマホやタブレット、パソコンのアプリで閲覧することができます。
- 会議の出欠回答などをアプリ上で返信することができます。

JAコネクトアプリ画面

●ログイン画面



個人別の「アカウント」と「あいことば」を入力してログインします。

●グループ一覧画面



グループごとに未読のメッセージを把握できます。メッセージが届いた際はスマホに通知されます。

JAコネクトのメリット



家に戻らないと情報を受け取れない
手遅れになることも



情報のリアルタイム化



圃場にいながら対策を受信
迅速な対応ができるようになります



送られてきた分だけかかるお金



費用の削減



インターネットがあればもうお金は
かかりません

JAコネクットの便利な機能

- 個人・グループごとにFAXのON/OFFが設定が可能



設定ページから、個人・参加グループ単位にFAXのON/OFFが切り替えることができます。FAXをOFFにするとアプリのみの受け取りとなるため、紙代の節約に繋がります。

- 必要な文書のみを印刷



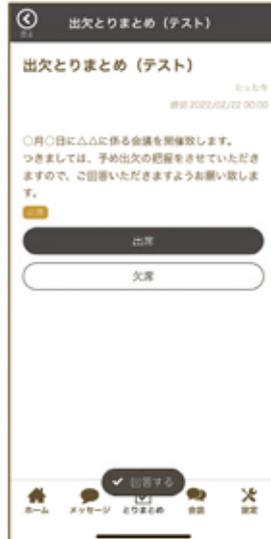
FAXの受信をOFFにしても、アプリで「自宅へFAX」や「印刷」ボタンから、自宅のFAX機やプリンターで文書を印刷することができます。必要な文書のみ印刷することができますので、インク代の節約に繋がります。

- 瞬時に文書の確認が可能



今までFAXで送られてきた文書は画像で閲覧が可能のため、スマホで瞬時に確認することができます。

- 会議等のとりまとめ返信



会議の出欠回答などのとりまとめについては、アプリ上で回答することが可能となります。今までのFAX返信や電話での連絡が不要となります。

申込方法

- ご利用の申し込みは、JA本所又は支所営農課までご連絡下さい。
- 申し込みいただいた方には、後日ログインに必要な情報を記載した「アカウント通知書」と「JAコネクット操作マニュアル」を郵送致します。

【お問い合わせ・申込先】

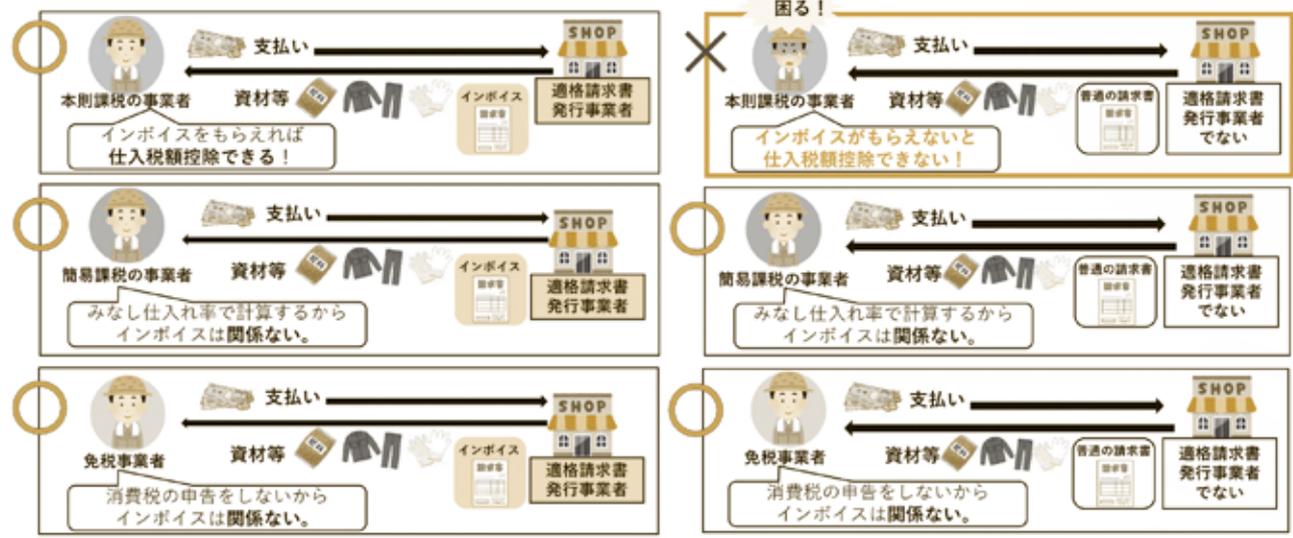
- 本所 農業振興部営農企画課・・・TEL：0164-26-0134
- 雨竜支所 営農課・・・・・・・・・・TEL：0125-77-2332
- 北竜支所 営農課・・・・・・・・・・TEL：0164-34-2211
- 幌加内支所 営農課・・・・・・・・・・TEL：0165-35-2021

消費税インボイス制度導入による 農業者への影響について

3. インボイス制度導入に伴う農業者の留意点

まずは、農業を営む上での基本的な取引についての影響を考えてみましょう。

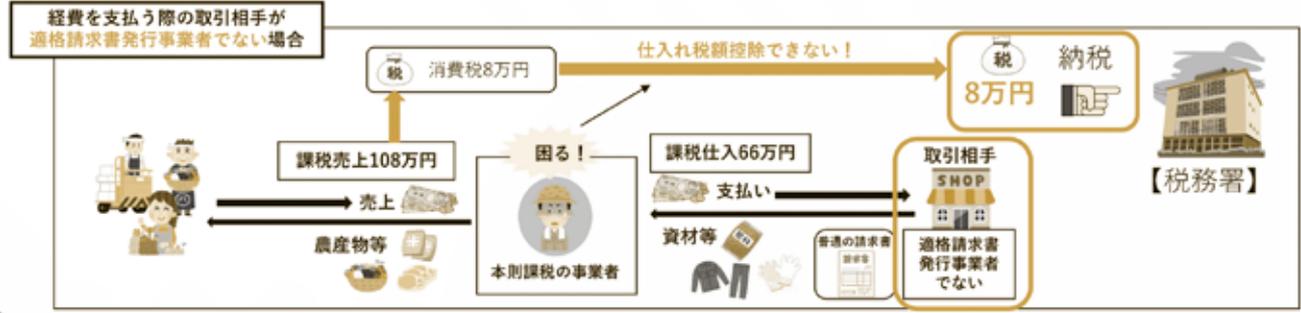
(1) 資材の購入等、農業者が「買い手」の立場の場合



Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

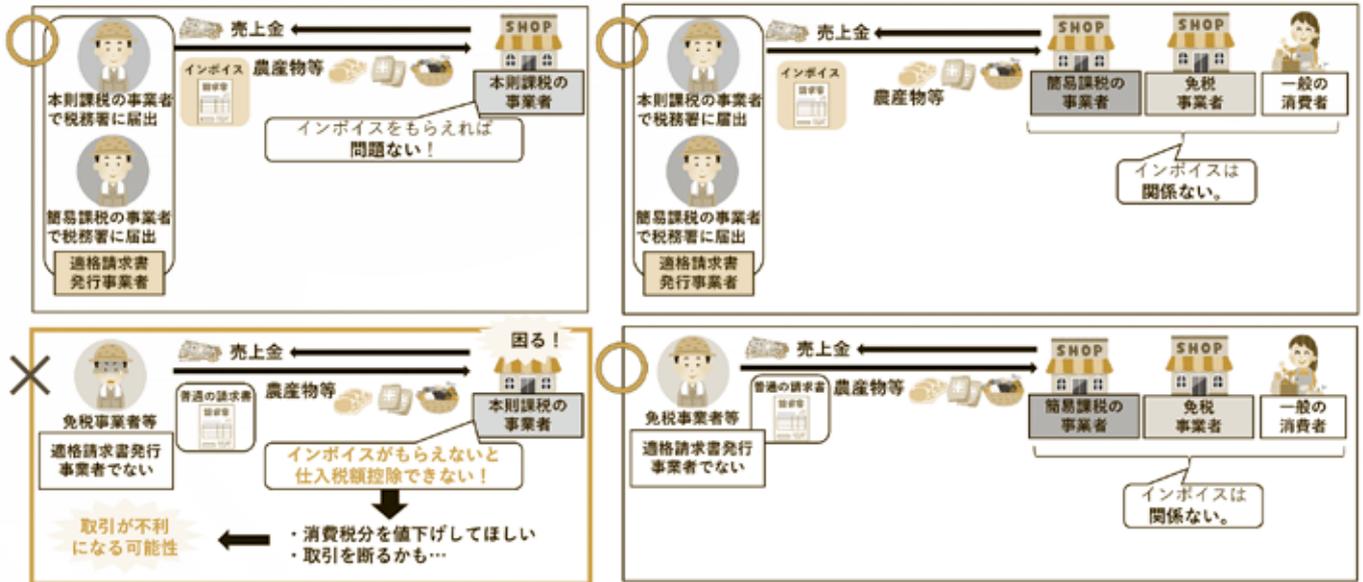
補足説明

農業者が「本則課税の事業者」の場合、取引相手が適格請求書発行事業者か否かで、消費税の計算に以下のような影響がでますので、**取引相手の選定に留意**してください。



Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

(2) 農産物の販売等、農業者が「売り手」の立場の場合



(注) 本則課税、簡易課税の農業者であっても、自動的に「適格請求書発行事業者」になるわけではありません。税務署に届出をしないと「適格請求書発行事業者」になれませんので注意してください。

Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

3



次に、JAに農産物の販売を委託した場合について考えてみましょう。

(3) 農協特例

JAへ販売委託した米は「無条件委託方式」かつ「共同計算方式」により販売されることが一般的です。

- ①無条件委託方式…売値、販売時期、販売先などの条件を付けずに委託する
- ②共同計算方式…一定期間における販売額を平均価格により精算する

この2つの要件を満たさず委託販売の場合、売り手と、買い手が1対1で紐づかない取引になるので、売り手が買い手に適格請求書（インボイス）を発行することが困難です。

そのため、売り手（農業者）の適格請求書発行義務を免除し、JAが発行する一定の書類により買い手が「仕入税額控除」することを認めることとなっています。これが「農協特例」です。

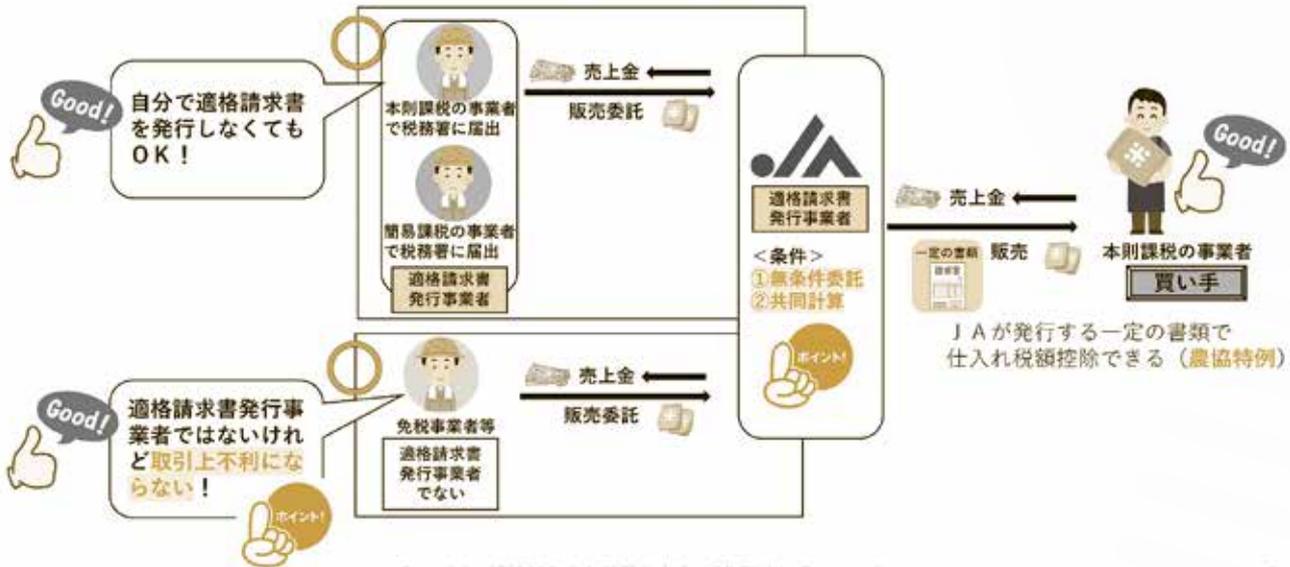


Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

4

「農協特例」の場合、「**買い手**」はJAが発行する一定の書類で「**仕入税額控除**」を行うため、その農産物を生産した**農業者が「適格請求書発行事業者」か否かは関係ありません。**

そのため、農協特例によって販売する場合については、農業者が**適格請求書発行事業者でなくても、取引上不利にはならないので安心してください。**



Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved.

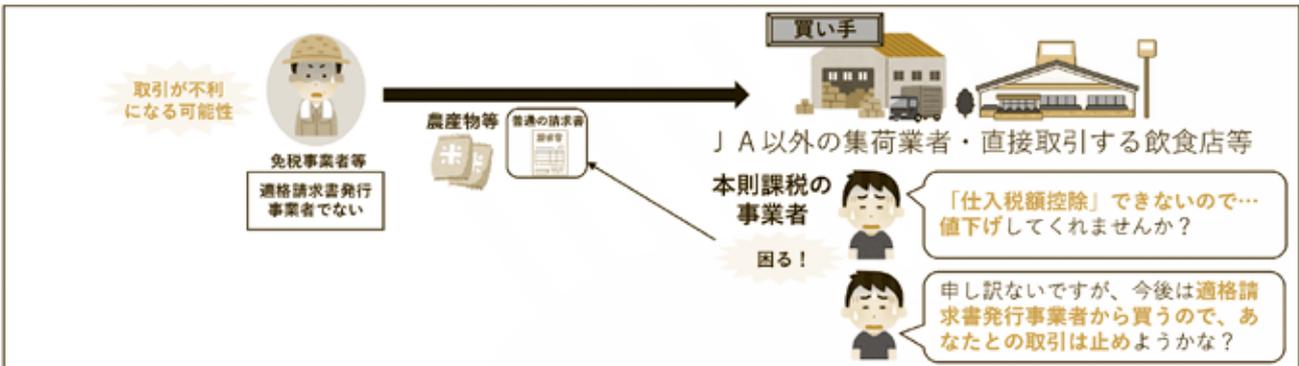
5

参考

JA以外の集荷業者や、農産物を直接取引する飲食店等の事業者は「**買取**」が一般的です。

当然のことながら「農協特例」は適用できません。

「**買い手**」が**適格請求書（インボイス）**を必要とする「**本則課税**」の事業者の場合、免税事業者等の**適格請求書発行事業者でない農業者**が取引する際には、不利になる可能性も考えられますので留意してください。



(注) 上記の「取引が不利になる可能性」は、あくまでも一般論としての「可能性」です。

買い手側がどのような対応を考えるかは個々の取引条件によりケースバイケースです。

例えば、買い手側が「仕入税額控除が出来なくとも、どうしてもあなたの農産物が欲しい」となれば、適格請求書発行事業者でなくとも取引上何ら不利になることはないでしょう。

Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved.

6

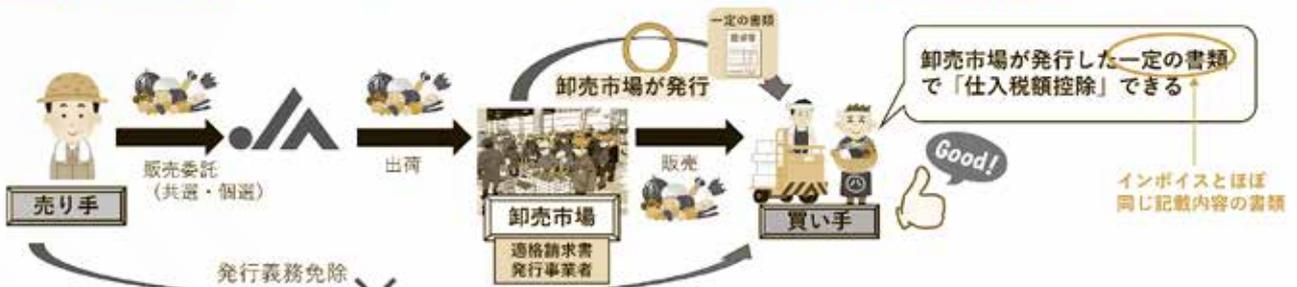
(4) 卸売市場特例

J Aへ販売委託した野菜等は、**卸売市場を通して**卸等の実需者に販売することが一般的です。



卸売市場を通じた販売の場合、**売り手が買い手に適格請求書（インボイス）を発行することが困難**です。

そのため、**売り手（農業者）の適格請求書発行義務を免除**し、**卸売市場が発行する一定の書類により買い手が「仕入税額控除」**することを認めることとなっています。**これが「卸売市場特例」**です。

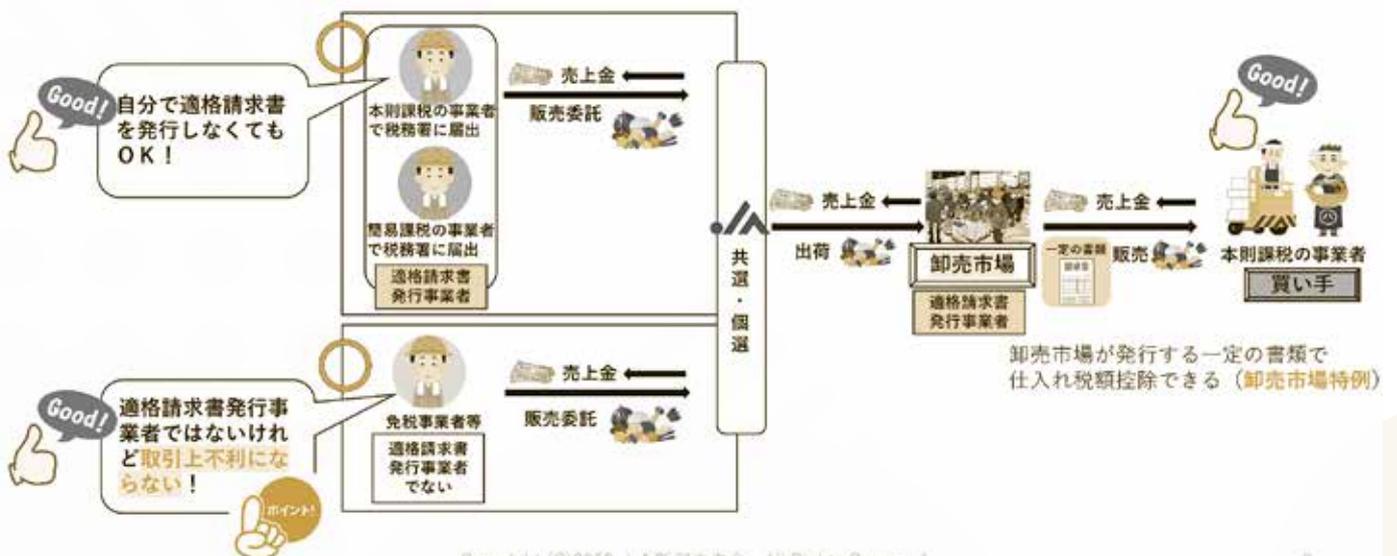


Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved.

7

「卸売市場特例」の場合、「**買い手**」は卸売市場が発行する一定の書類で「**仕入税額控除**」を行うため、その農産物を生産した**農業者が「適格請求書発行事業者」か否かは関係ありません**。

そのため、卸売市場特例によって販売する場合については、農業者が**適格請求書発行事業者でなくても、取引上不利にはならないので安心して下さい**。



Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved.

8



次に、農産物直売所やインショップを介した販売について考えてみましょう。

(5) 農産物直売所やインショップでの取引

直売所やインショップへ出荷した農産物は、直売所やスーパー等の店舗のレジを通して一般消費者や事業者へ販売されます。

直売所やインショップの販売は「無条件委託」「共同計算」ではないので「**農協特例**」が使えません。

また、当然のことながら卸売市場を通していないので「**卸売市場特例**」も使えません。

さらに厄介なことに、レジを通過する際に、**お客様の買い物籠の中には、「店舗で仕入れた商品」と「農業者が出荷した商品」が混在**しますので取引が複雑になります。

これらを踏まえたうえで、**基本的な対応方法は以下の3パターン**が想定されます。

農産物等を出荷する**店舗がどの方法を採用するかにより、農業者への影響が異なります。**



どういこと？
3パターンは何が違うの？

- ①媒介者特例方式
- ②消化仕入方式
- ③事業者対応特別方式

については次号で説明いたします。

Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved

9

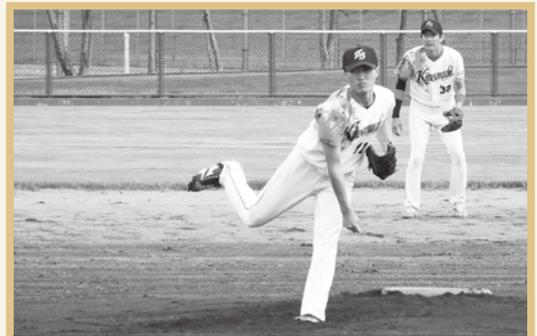
JAきたそらち野球部は、6月27日と7月1日の両日、栗山町民球場と長沼町運動公園広場野球場にて開催された「第63回 空知管内JA野球大会」に出場し、3回目の優勝を果たした。前回大会（2019年開催）に続き2連覇となった。

同大会は、コロナ禍により一昨年、昨年と開催を見送られていたが、今年は札幌軟式野球連盟の「令和4年度大会開催に向けて感染予防対策注意事項」に準拠した大会運営のもと開催され、空知管内のJAやホクレンなど10チームが出場した。

1試合目は、JAそらち南と対戦し5回コールドの9対0で勝利し、準決勝はJAいわみざわと対戦し2対1で接戦を制した。

迎えた決勝戦では、JAピンネとの対戦となり、3回表に四球を選んだ古木（金融共済北竜支所）が藤川（青果課）の適時打で帰還、藤川も相手捕手の後逸により帰還し、この回2点を先制した。3回裏に1点返されるも、その後は息詰まる投手戦の末2対1で勝利し、優勝を飾った。期待の新人エース佐藤（雨竜支所営農課）は、全ての試合で先発（2、3試合目は完投）し、奪三振20、被安打9、与四球2と見事な投手成績を収めた。

表彰式では勝利監督賞を佐野（農産課）、打撃賞を藤川、美技賞を植田（青果課）、最優秀選手賞を佐藤が受賞した。同部は空知管内を代表して、8月31日、9月1日に江別市で行われる全道大会に出場する。





石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第22回

ジェンダーの垣根を超える組織へ

貴JAが本格的に職員研修に取り組み始め早いもので4年目を迎えました。それまでは「JAカレッジに受講させて終わり」くらいの感じだったのではないのでしょうか。他の研修機関に派遣をし学ばせることはとても大切です。でも、問われるのは組織に戻ってからの実践で、となるといくら立派なことをカレッジ等で学んだにしても、現場で「上司(先輩)が部下(後輩)にどのように接し、普段どのような背中を見せているか」が重要です。それが「指導育成の基本はOJT(職場内教育)」といわれる所以でもあります。そこで貴JAでは主査職の男性職員からなる「サムライ塾」を皮切りに「自分塾」と称して管理者、更には若手職員を対象にと幅を広げ、またコロナ禍の影響で延び延びになっていた女性の主査職を対象とした「なでしこ塾」もようやく動き出してきたようです。加えて新入職員へのアプローチも熱心に行われており、このように積極的に職員研修を進めている農協は数少ないように思います。そうしたヒトへの投資が将来の貴JAに花開くのは勿論のこと、職員の皆さんもそのことに感謝をし現状に安住せず、組合員の方々のよきパートナーとして「自分磨き」に拍車がかかることを切に願ってやみません。なお今後は各塾をぶつ切りにするのではなく、向かう方向を一つにし有機的に結びつけていくことが求められます。私はその重要なツールは職員必

携ともいえるJAきたそらちの理念カード、即ち、「CREDO」に凝縮されていると思っています。これをどれだけ各人が自分のものにしていくかです。

ところでこうして職員研修等に携わり感じる点があります。今回は主査職で平行し行われている先述した2つの塾に伺ってお話をします。こうした取り組みは数あるJAの中でも特筆すべきもので、おおいに評価に値します。ただ私は更なる前進を願っております。ご承知の通り、昨今、わが国ではジェンダーギャップが大きく問題視されています。そうした中であって、私は未だ農業関係者は、かつての男尊女卑とまでは言わないまでも、まだまだ男性優位の考えが根強く残っており、今日の社会の流れから遅れているように感じています。それが女性陣を補助的労働力へと追いやり、女性のやる気を奪う要因の一つになっており、良くも悪くも女性職員の意識変革の壁になっていくように思えてなりません。そうした中にあり貴JAでの取り組みは先進的であるのは認めつつも、願わくばこの考え方を一層、進化させ、ジェンダーの垣根を取り払うこと、を夢みる私があります。即ち、性別に関係なく「塾で学びたい」という人達が集い、お互いに「農業振興を通じて地域社会に貢献する」：「そんな人財づくりに寄与すること」なればと。この夢が現実化した時、文字通り、大きな組織変革を手にすることが出来、更にその考え方が組合員の方々の事業所にも広がって

くと農業全体のイメージアップが格段に進むことは明白です。微力ながら門外漢としてそうした流れを作る後押しが出来ればこんなに嬉しいことはありません。

ところでそれに付随し今号の終わりにこんな話を。実は今年度になり新たな肩書が私に付与されました。それは「北農5連農業経営支援コンサルタント」です。事業承継や税、補助金等に関する事まで、組合員の皆さんのどんな悩みごとでも北農5連の力を結集し一緒に問題解決を図っていくと新年度からスタートした「農業経営支援事業」があります。これを進めるにあたり、専門家の一人として委嘱を受け、先の対外的呼称を与えられ「組織づくりや人材育成」の分野で支援をする役割を担うことになったのです。どんな悩みでも結構です。もし組合員の皆さんの中で、何か悩み事がありましたら、一人で抱えこまず、まずはJAに気軽に相談をして下さい。そうすると必要に応じて専門家に繋ぐ仕組みになっており、これらに関する費用負担は協議会がと聞いております。こうした制度は利用されてこそ意味を増します。組合に出資をしJAの構成員となっている皆さんです。それを利用しない手はありません。そのことにより組合員の皆さんとJAとの距離もより近くなり「食を守り、育てる」：「より良きパートナーとして益々、その絆が深くなり輝きを増す」：そんな一端を担うことが出来れば幸いです。

【著者】石田邦雄 (いしだくにお) 氏

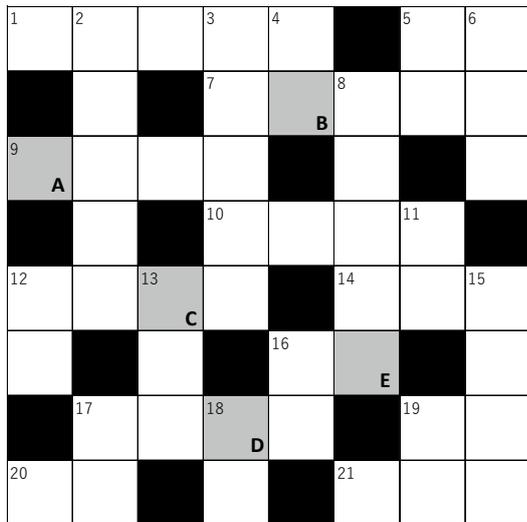
1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでる研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

6月号の正解は

「アジサイ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

- 深川市 太田 輝己 様
- 深川市 岡田 衣子 様
- 深川市 垣谷 敏夫 様

【タテのカギ】

- 2 経済活動が活発で金回りがよいこと。景気がいいこと。
- 3 ふところやポケットの中。「○○○○○時計」「○○○○○電灯」
- 4 動物が□や鼻で吸ったり吐いたりする空気
- 5 海水や地中からとれる白くてからい物
- 6 魚肉を適当な大きさに切ったもの
- 8 大粒の雨が激しく降ること。また、その雨。
- 11 並んでいる数の位置。「○ ○違い」「○○外れ」
- 12 金属元素の一つ。元素記号Fe。硬くて銀色のつやをもつ。後の日。
- 15 一つの列
- 16 利益を失うこと。また、失ったもの。
- 17 風雨のために海が荒れること。海が荒れて魚がとれないこと。
- 18 子を育てる人。父や母。
- 19 海にすむ。体が平たい、おめでたい魚

【ヨコのカギ】

- 1 一般の人に公開しないこと
- 5 計算の順序や関係・法則などを記号や数字で表したもの
- 7 怒ること。腹を立てること。
- 9 結婚を許されない相愛の二人がよその土地に逃げ隠れること
- 10 太陽が沈むとき、西の空が赤くなること。
- 12 条件・状況などにぴたりと当てはまること
- 14 軍隊の一部を構成する隊
- 16 雪や氷の上を滑らせて、人や荷物を運ぶ乗り物。
- 17 室内の温度
- 19 しょうゆに、みりんや砂糖などを合わせた汁
- 20 山や岸などがけわしく切り立っている場所。
- 22 ヨーロッパ中部にある国。ベルリンが首都。

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切8月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和4年10月号に掲載します。

【送付先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

七月俳句

● 雨竜俳句会

父の日や思い出バナナ目の前に
更衣好みの服の今はなく
郭公や畑仕事の弾みけり
寝転べば蠅と目の合う一間かな
食卓を飾る日思い夏畑

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

黄西瓜も町のシンボル今盛り
青嵐もち逝ける物なにも無し
鉄線花五色へ同じ朝の風
夜濯や夫寝し後の一時を
白南風や大口開ける池の鯉
汗かきてコーヒー缶は自販機で
昼顔の藪の中よりほぼえんで
揚羽蝶よさこい演舞燃え盛る

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

● 土筆俳句会

風透くも記憶は遠し破れ傘
冷夏なり政見放送切り替へる
石楠花や家の屋根まで咲き誇る
本日の予定びつしり朝曇
破れ傘しなりて床に雨を見る
父の日にセピア色増す家族写真
初物のスイカ供えて妣憶う
バス停に待ち人の影向日葵よ
四度目のワクチン予約半夏雨

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

第7回理事会〈令和4年7月5日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 第1四半期随時監査報告について
3. 内部監査報告について
4. 組合員の加入脱退について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 固定資産の修繕について
7. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
8. 反社会的勢力等との取引排除に係る定期確認結果について
9. コンプライアンス事故報告について
10. 令和4年度上半期決算実地棚卸 理事並びに監事立会について
11. 職員の人事及び業務事故について
12. JAきたそらち事業評価制度の取り進めについて
13. 貸出金の貸付報告について
14. 農地利用効率化等支援交付金の申請・採択結果について
15. 農業分野における原油価格・物価高騰等緊急対策事業について
16. JALふるさと応援隊による農業体験受入れについて
17. 令和4年度 主要農作物の生育概況について
18. 令和4年度 JA検査員配置体制と米集荷繁忙期人員体制について
19. 令和4年産米 作付計画・出荷契約・特定米穀予約申込状況について
20. 令和4年産 畑作物作付状況について
21. 令和4年産 小麦の取扱いについて
22. 令和4年産 玄そば出荷契約数量について
23. 畜産物の販売実績について
24. 青果・花き集荷販売実績について
25. R4温材奨励金の支払について
26. R5肥料温材推進について
26. 経済部事業実績について

議案第1号 令和4年度内部監査部門事業計画の変更について

議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第3号 組合員の出資金持分相当額の仮払について

議案第4号 理事に対する貸出承認について

議案第5号 令和4肥料年度価格設定について

音江保育園 バケツ稲レポート



7がつ 20にち 水ようび

ぐんぐんと順調に大きくなるバケツ稲！
そろそろ支柱が必要ですね♪
子どもたちの身長を抜くのもあと少し・
・・・！！

組合員の動き

(令和4年6月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,293	7	21	1,279
	団体	95	3	0	98
准組合員	個人	5,593	30	27	5,596
	団体	274	0	0	274
正組合員戸数		921	4	11	914



金融共済部 共済課からのお知らせ



ご自身やご家族がいつまでも安心して暮らすために

認知症の予防と備えについて 考えてみませんか？



長寿化の進展等により、認知症は誰にとっても身近なリスクになってきています。

2025年には約1,362万人*¹
65歳以上の

約3人に1人*²



認知症や軽度認知障害(MCI)の患者数は、
2025年には65歳以上の高齢者人口約3,677万人の約3人に1人、
約1,362万人に達すると推計されています。

認知症には、介護費用のほか、検査・ケア・医療のための費用がかかります。

認知症に伴う費用の目安

介護にかかる自己負担額*³

介護費用 1か月平均**8.3万円** × **介護期間** 平均**5年1か月** = **総額** **約507万円**

検査・ケア・医療の例		費用の目安(1年間)	5年間継続した場合
MCIスクリーニング検査	MCIのリスクをはかる血液検査	約2万円* ⁴	約10万円
もの忘れドック	脳の異常や記憶力・認知力の低下がないかを確認する画像検査・認知機能検査等	約5万円* ⁵	約25万円
認知症デイケア	運動療法や認知トレーニング等を行うプログラム(公的医療保険適用)	約4~12万円* ⁶	約20~60万円
認知症の外来医療費	投薬やリハビリ等	約4~14万円* ⁷	約20~70万円

*1 「厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 第115回(2011.19)参考資料」, 「厚生労働省 社会保障審議会 介護保険部会 第78回(令和元年6月20日)資料」をもとにJA共済にて試算 *2 内閣府 令和3年国勢調査 社会意識をもとにJA共済にて試算 *3 公益財団法人 生命保険文化センター「2021(令和3)年度 生命保険に関する全国実態調査」をもとにJA共済にて試算 *4 約2万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済にて試算 *5 約5万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済にて試算 *6 公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて約800円~2,400円/日、週に1回~年間52回としてJA共済にて試算(千円単位切り捨て) *7 慶応義塾大学・厚生労働省「認知症の社会的コスト(2015)」をもとに費用の目安(1年間)を公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて47,520円~142,560円(千円単位切り捨て)としてJA共済にて試算

いつまでもわたしらしく 認知症共済

JAの認知症共済は、幅広い保障とサービスで
予防しながらしっかり備えられる、新しい保障です

ポイント1 認知症はもちろん、
認知症の前段階の
軽度認知障害(MCI)
まで幅広く保障します。

ポイント2 認知症の予防・早期発見から
発症後までをトータルで
サポートする各種サービスが
ご利用いただけます。

ポイント3 簡単な告知で
ご加入いただけます。

ご契約例：共済金額500万円

不担保期間

1年間

はじめの1年間は
認知症・軽度認知障害
の保障がありません。

ご加入

① 認知症共済金 500万円 (共済金額×100%)
所定の認知症と診断確定+要介護1以上の認定中*のとき
*公的介護保険制度に定めるもの

② 軽度認知障害給付金 50万円 (共済金額×10%)
所定の軽度認知障害または所定の認知症と診断確定されたとき
*①・②の支払額を合計して、共済金額と同額が限度です。

生涯保障

この資料は概要を説明したものです。ご契約にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意事項等)」および「契約のしおり(約款)」を必ずご覧ください。

詳しい情報はホームページをご覧ください [JA共済ホームページアドレス https://www.ja-kyosai.or.jp](https://www.ja-kyosai.or.jp)



げんきを一緒に作る。
JA共済の「げんきなカラダプロジェクト」は、みなさまの
げんきなカラダづくりをサポートする活動です。
専用ホームページでは、健康関連のお役立つ情報や、各種
イベントのご案内を掲載しています。是非ご覧ください。➡

お問い合わせは **JAきたそらち**
 本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
 音江支所 TEL 0164-25-1111 雨電支所 TEL 0125-77-2331
 深川支所 TEL 0164-22-2171 北電支所 TEL 0164-34-2280
 納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

22320320139